

国際バカロレアの 大学入試における活用について

文部科学省大臣官房国際課



国際バカロレア (IB) について

国際バカロレアとは

- ▶ 国際バカロレア (IB) とは、課題論文、批判的思考の探究等の特色的なカリキュラム、双方向・協働型授業により、グローバル化に対応した素養・能力を育成する教育プログラム。国際バカロレア機構の提供の下、世界150以上の国・地域の5,000校以上で実施 (2019年7月現在)。
- ▶ 高校レベルのディプロマ・プログラム (DP) では、**国際的に通用する大学入学資格 (IB資格) が取得可能**であり、世界の大学入学者選抜で広く活用。幼稚園、小学校、中学校レベルのプログラムを含め、我が国のグローバル人材育成等に資する。
- ▶ **成長戦略2020 (2020年7月閣議決定) において、IB認定校等を2022年度までに200校以上**にするという目標 (2020年6月現在159校) を掲げている。

【国際バカロレアの教育プログラム】

- ◆ **ディプロマ・プログラム (DP)** 【日本：46校、世界：3,428校】
⇒16～19歳を対象とした2年間のプログラム。主に高校で導入
 - ◆ **ミドル・イヤーズ・プログラム (MYP)** 【日本：18校、世界：1,522校】
⇒11～16歳を対象とした5年間のプログラム。主に中学校で導入
 - ◆ **プライマリー・イヤーズ・プログラム (PYP)** 【日本：38校、世界：1,771校】
⇒3～12歳を対象とした5年間のプログラム。主に幼稚園、小学校で導入
- f. キャリア関連プログラム (CP) 【日本での導入校はなし】
16～19歳を対象としたキャリア教育・職業教育に関連したプログラム

【国際バカロレアの学習者像】

探究する人 私たちは、好奇心を育み、探究し研究するスキルを身につけます。ひとりでも、他の人々と共に学びます。熱意をもって学び、学び喜びを生涯を通じてもち続けます。	心を開く人 私たちは、自己の文化と個人的な経験の真価を正しく受け止めると同時に、他の人々の価値観や伝統の真価も正しく受け止めます。多様な視点を求め、価値を見出し、その経験を糧に成長しようとする姿勢をもちます。
知識のある人 私たちは、概念的な理解を深めて活用し、幅広い知識を探究します。地域社会やグローバル社会の重要な課題や考えに取り組みます。	思いやりのある人 私たちは、思いやりと共感、そして尊重の精神を示します。人の役に立ち、他の人々の生活や私たちを取り巻く世界を良くするために行動します。
考える人 私たちは、複雑な問題を分析し、責任ある行動をとるために、批判的かつ創造的に考えるスキルを活用します。率先して理性的で倫理的な判断を下します。	挑戦する人 私たちは、不確実な事態に対し、熟慮と決断力をもって向き合います。ひとりでも、または協力して新しい考えや方法を探究します。挑戦と変化に対して、積極的に高んだ方法で快活に取り組みます。
コミュニケーションができる人 私たちは、複数の言語やさまざまな方法を用いて、自信をもって創造的に自分を表現します。他の人々や他の集団のもの見方に注意深く耳を傾け、効果的に協力し合います。	バランスのとれた人 私たちは、自分自身や他の人々の幸福にとって、私たちの生を構成する知性、身体、心のバランスをとることが大切だと理解しています。また、私たちが他の人々や、私たちが住むこの世界と相互に依存していることを認識しています。
信念をもつ人 私たちは、誠実かつ正直に、公正な考えと強い正義感をもって行動します。そして、あらゆる人々にもつとめと権利を尊重して行動します。私たちは、自分自身の行動とそれに伴う結果に責任をもちます。	振り返りができる人 私たちは、世界について、そして自分の考えや経験について、深く考察します。自分自身の学びたい成長を促すため、自分の長所と知所を理解するよう努めます。

IB導入の効果

① グローバル人材育成

- ✓ 幅広い知識の**探究スキル**、**課題発見・解決能力**、**コミュニケーション能力**等を育成
- ✓ 国際的な視野を持ち、AI等の技術革新、将来 (Society 5.0) の社会課題に対応するグローバル人材を育成

② 初等中等教育の質の向上

- ✓ IBと日本の教育政策の方向性は親和性が高い
- ✓ **主体的な学び**を通じた全人教育により、水平展開できる初等中等教育の好事例を形成

③ 国際的通用性

- ✓ IB資格を活用した**国内外への進路の多様化**
(ex) 高校段階のプログラム (DP) のスコアにより、
 - ・ **海外大学の受験に活用可能** (学力試験の免除等)
 - ・ **海外大学では進学後の単位として認定** 等
- ✓ 国内大学でのIB入試導入により、
海外のIB生を呼び込み、国内の**大学の国際化・活性化**



(参考) IB生の授業風景
@市立札幌開成中等教育学校

国際バカロレア認定校一覧 (五十音順・令和2年6月現在)

北海道
※市立札幌開成中等教育学校

宮城県
秀光中等教育学校
※仙台育英学園高等学校
東北インターナショナルスクール

茨城県
開智望小学校
つくばインターナショナルスクール
※茗溪学園高等学校

群馬県
くま国際アカデミー

埼玉県
※昌平中学校
※筑波大学附属坂戸高等学校

東京都
アオバジャパン・インターナショナルスクール
アオバジャパン・バイリンガルプリスクール晴海
アオバジャパン・バイリンガルプリスクール芝浦
アオバジャパン・バイリンガルプリスクール早稲田
インディア・インターナショナルスクール・イン・ジャパン
ウィローブルックインターナショナルスクール
※開智日本橋中学・高等学校
カナディアン・インターナショナルスクール
K・インターナショナルスクール
サマーヒルインターナショナルスクール
シナガワインターナショナルスクール
清泉インターナショナルスクール
セント・メリーズ・インターナショナルスクール
玉川学園中学部・高等部
千代田インターナショナルスクール
東京インターナショナルスクール
※東京学芸大学附属国際中等教育学校
東京都立国際高等学校
町田こぼと幼稚園
みずほスクール
※武蔵野大学附属千代田高等学院

神奈川県
※神奈川県立横浜国際高等学校
キッズ大陸よこはま中川園
サンモール・インターナショナルスクール
聖ヨゼフ小学校
※法政大学国際高等学校
ホライゾン・ジャパン・インターナショナル・スクール
※三浦学苑高等学校
横浜インターナショナルスクール

山梨県
山梨学院幼稚園
山梨学院小学校
※山梨学院高等学校
※山梨県立甲府西高等学校

長野県
インターナショナルスクール・オブ・アジア軽井沢
インターナショナルスクールオブ長野
※松本国際高等学校

岐阜県
サニーサイドインターナショナルスクール

静岡県
エンゼル幼稚園
加藤学園暁秀高等学校・中学校
静岡サレジオ幼稚園
静岡サレジオ小学校

愛知県
アップビート・インターナショナルスクール
江西インターナショナルスクール
※東海学園高校
名古屋インターナショナルスクール
名古屋国際中学校・高等学校

滋賀県
※滋賀県立虎姫高等学校

京都府
京都インターナショナルスクール
同志社インターナショナルスクール
同志社国際学院初等部
立命館宇治高等学校

大阪府
アブロード・インターナショナルスクール大阪
大阪教育大学附属池田中学校
※大阪市立水都国際高等学校
※大阪女学院高等学校
大阪YMCAインターナショナルスクール
関西学院大阪インターナショナルスクール
※コリア国際学園

兵庫県
※AIE国際高等学校
カナディアン・アカデミー
関西国際学園
神戸ドイツ学院
マリスト国際学校

岡山県
アブロードインターナショナルスクール岡山
※岡山理科大学附属高等学校

広島県
AIC高等学校
※英数学館高等学校
広島インターナショナルスクール

福岡県
福岡インターナショナルスクール
※福岡第一高等学校
リンデンホールスクール中高等学校

沖縄県
オキナワインターナショナルスクール
※沖縄尚学高等学校

(凡例)
■ 公立IB校の所在都道府県
■ 国私立IB校の所在都道府県
■ 青字：学校教育法第1条に定める学校（いわゆる1条校）
 ※：デュアルランゲージ・ディプロマ・プログラム（DLP）実施校

認定校	: 83校
うち1条校	: 44校
うちDLDP実施校	: 24校

大学入学者選抜における国際バカロレア導入の意義



- ✓ 世界各国からの優秀な学生の受入れ
- ✓ 国内で国際バカロレア教育を受けた国際社会に貢献できる学生の受入れ
- ✓ 大学の国際化（世界共通の入試方式の導入）

■ 日本における国際バカロレア入試導入状況

令和元年12月時点現在

全学部実施（37大学）		一部学部実施（25大学）	
会津大学	中京大学	愛知医科大学	広島大学
浦和大学	筑波大学	青山学院大学	北海道大学
お茶の水女子大学	東京医科歯科大学	大阪市立大学	法政大学
岡山大学	東京外国語大学	大阪大学	武蔵野大学
鹿児島大学	東京学芸大学(R2より)	学習院大学	明海大学
金沢大学	東京国際大学	京都大学	明治学院大学
関西学院大学	東北福祉大学	近畿大学	立教大学
京都外国語大学	東洋大学	慶應義塾大学	立命館大学
京都工芸繊維大学	豊橋技術科学大学	首都大学東京	
倉敷芸術大学	名古屋大学	順天堂大学	
工学院大学	日本工業大学	中央大学	
神戸女学院大学	日本獣医生命科学大学	都留文科大学	
国際基督教大学	ビジネス・ブレークスルー大学	東京藝術大学	
国際教養大学	松本歯科大学	東京大学	
芝浦工業大学	武蔵野学院大学	東北大学	
西南学院大学	横浜市立大学	長崎大学	
創価大学	立命館アジア太平洋大学	日本体育大学	
玉川大学	九州工業大学		
東京都市大学			

計62大学

【注】

- ・日本の学校の卒業生を対象としているものを記載（帰国生や留学生に対象を限定しているものを除く）。
- ・下線はIB資格取得者・取得予定者のみを対象とした入試を実施している大学。
- ・各大学へのアンケートに基づき文部科学省 I B 教育推進コンソーシアム事務局にて作成したもので、必ずしも全ての情報を網羅しているわけではない。

※文部科学省 I B 教育推進コンソーシアム事務局調べ

■ 日本における国際バカロレア入試導入事例

国際バカロレア取得者等のみを対象とした入試

- 筑波大学国際バカロレア特別入試
- 岡山大学国際バカロレア入試
- 都留文科大学国際バカロレア推薦入学試験
- 玉川大学国際バカロレアAO型入学審査

等

特別入試等の出願資格の中に国際バカロレア資格やスコアを活用

- 大阪大学学部英語コース特別入試、AO入試、帰国生徒特別入試
- 東京外国語大学帰国生等特別選抜
- 早稲田大学AO入試
- 国際教養大学AO入試

等

国際バカロレアを活用した大学入試③

海外における国際バカロレア入試

- ▶ 各大学のアドミッションポリシーに基づき入学選抜が行われる。IBスコアのみで出願可能な大学、オンラインでの口頭試問を求める大学、他に英語力を示す試験結果の提出を求める大学と様々。
- ▶ 出願時期までに最終スコアが決定しない場合、学校側で予測スコア (predicted score) をつけて大学側に提出し、最終スコアの確定を以て可否を確定させる (国内大学と同様)。
- ▶ 一定以上のIBスコアが得られている場合、各大学における単位として取り扱ってもらえることや、2年次からの入学を許可されることがある。

ブリティッシュコロンビア大学 (加)

THE世界大学ランキング2020 : 33位

- ▶ 入学時要求最低スコア : 24点
※ただし、3つ科目を上級レベル(HL)で履修した場合、学部によって追加要件あり
- ▶ 入学生の平均スコア : 33点
- ▶ 全ての上級レベル(HL)と一部の標準レベル(SL)が初年度単位として考慮される。

カリフォルニア大学バークレー校 (米)

THE世界大学ランキング2020 : 13位

- ▶ 入学生の平均スコア : 38点
- ▶ 単位獲得の基準
総スコア30点以上の場合に30 quarter (20 semester)
上級レベル (HL) で5以上の場合には8 quarter (5.3 semester)

ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン (英)

THE世界大学ランキング2020 : 15位

- ▶ 入学時要求最低スコア : 34点
※ただし、3つの上級レベル(HL)で履修した科目の成績が合計16以上であり、かつ5未満の科目がない場合、学部によって追加条件があることが多い
- ▶ 入学生の平均スコア : 38点

クイーンズランド大学 (豪)

THE世界大学ランキング2020 : 66位

- ▶ 入学時要求最低スコア (経営学部の例) : 29点
※英語 (Language Aなら4以上、Bなら5以上) と数学のコースを取得していること
- ▶ 入学生の平均スコア : 32点
- ▶ 1 semester (8 unit)の単位が得られる可能性あり

(出典) <https://www.ibo.org/contentassets/5895a05412144fe890312bad52b17044/recognition---international-student-guide-uk---march2016---eng.pdf.pdf>
<https://www.ibo.org/contentassets/5895a05412144fe890312bad52b17044/recognition---international-student-guide-us---march2016---eng.pdf.pdf>
<https://www.ibo.org/contentassets/5895a05412144fe890312bad52b17044/recognition---international-student-guide-ca---march2016---eng.pdf.pdf>
<https://www.ibo.org/contentassets/5895a05412144fe890312bad52b17044/recognition---international-student-guide-aus---march2016---eng.pdf.pdf>

7

国際バカロレアの教育カリキュラム (DP)

ディプロマ・プログラム (DP) の履修形式

- ▶ コアの3科目は**全員必修**。その他の教科については、**各グループから原則1科目を選択**し、**計6科目**を履修 (下表参照)。
- ▶ コア以外の各教科の科目には、上級レベル (HL : 240時間程度) と標準レベル (SL : 150時間程度) のカリキュラムが存在。選択可能な6科目のうち、**3~4科目はHL**で、**2~3科目はSL**で履修。
- ▶ 上記全てを履修し、**外部評価** (世界共通の試験による評価) **及び内部評価** (各学校の教員による評価) を通じて、**45点満点*中24点以上**を獲得することで、**国際的に通用する大学入学資格 (IB資格) を取得可能**。
※配点 : コアは計3点満点、各グループの教科は7点満点×6科目

	教科名	教科の概要
コア (必修科目)	Extended Essay (EE) 課題論文	学習している科目に関連した研究課題を設定して自ら調査・研究を行い、論文としてまとめる (英語は4000 word、日本語は8,000字)。
	Theory of Knowledge (TOK) 知の理論	「知識の本質」について考え、「知識に関する主張」を分析し、知識の構築に関する問を探究する。批判的思考を培い、生徒が自分なりのもの見方や、他人との違いを自覚できるよう促す。最低100時間の学習。
	Creativity, Action, Service (CAS) 創造・活動・奉仕	教室以外の広い社会で経験を積み、様々な人と共同作業することにより、協調性、思いやり、実践の大切さを学ぶ。最低150時間の学習。
	グループ名	選択科目リスト (赤字は、日本語DP校において、日本語での履修が可能な科目)
(各グループから1科目選択)	1. 言語と文学 (≒母国語)	言語A : 文学、言語A : 言語と文学、文学と演劇
	2. 言語習得 (≒外国語)	言語B、初級言語
	3. 個人と社会	地理、歴史、経済、ビジネスと経営、情報テクノロジーとグローバル社会、哲学、心理学、社会・文化人類学、世界の宗教 (標準レベルのみ)、グローバル政治
	4. 理科	生物、化学、物理、コンピューター科学、デザインテクノロジー、スポーツ・エクササイズ・健康科学 (標準レベルのみ)
	5. 数学	数学 : 解析とアプローチ、数学 : 応用と解釈
	6. 芸術	音楽、美術、ダンス、フィルム、演劇

8

国際バカロレア校における教育カリキュラム編成①

■ 必修科目の対応関係について

- ▶ 以下の学習指導要領に定める必修教科・科目について、**下記の3要件を満たすことで、学習指導要領の科目の履修等を行ったとみなす**ことが可能。
 1. 高等学校学習指導要領に定める**内容事項が適切に取り扱われている**こと。
 2. 生徒の発達の段階並びに内容の系統性及び体系性に配慮がなされていること。
 3. その他、生徒の転出入に対する配慮等の教育上必要な配慮がなされていること。
- ▶ 告示に示す要件のうち、学習指導要領の内容事項等と当該IB科目の内容の対応関係の取扱いは以下のとおり。
 - ・下表**赤字**の科目：令和元年12月26日通知「国際バカロレア・ディプロマ・プログラムの科目における学習指導要領の内容事項等の取扱いに係る調査結果について」のとおり、**追加的に取り扱うべき事項等が存在する場合がある**
 - ・下表**黒字**の科目：IBDPの科目の履修を以て学習指導要領の内容事項は全て満たされているものとして取り扱う
- ▶ これらの教科・科目については、**大学入学者選抜等において、IBDP科目の履修等を以て当該科目の履修とみなす**など、**大学で適切に判断するよう要請（令和元年12月26日通知）**。

国際バカロレア科目名	学習指導要領	国際バカロレア科目名	学習指導要領
マセマティクス：アナリシス・アンド・アプローチ (IBカリキュラム名の変更に伴う改定)	数学 I	マセマティクス：アプリケーションズ・アンド・インタープリケーション (IBカリキュラム名の変更に伴う改定)	数学 I
ヒストリー	世界史A・B	ヒストリーHL	日本史A・B
フィジックス	物理基礎	ジオグラフィー	地理A・B
ケミストリー	化学基礎	ミュージック	音楽 I
バイオロジ	生物基礎	ヴィジュアル・アーツ	美術 I
ランゲージB	コミュニケーション英語 I	セオリー・オブ・ナレッジ	総合的な探究の時間

※赤字は令和元年12月26日告示で追加。特段の指定がない限りは、SL、HLの両方について対応関係が確認されている。9

国際バカロレア校における教育カリキュラム編成②

■ 必修科目以外の科目における対応関係について

- ▶ 以下の表に示す学習指導要領の科目については、**IBDPの科目との対応関係があることを確認済み**
 - ・下表**赤字**の科目：令和2年3月30日通知「国際バカロレア・ディプロマ・プログラムの科目における学習指導要領の内容事項等の取扱いに係る調査結果について(3月30日時点)」のとおり、**追加的に取り扱うべき事項等が存在する場合がある**
 - ・下表**黒字**の科目：IBDPの科目の履修を以て学習指導要領の内容事項は全て満たされているものとして取り扱う
- ▶ 下表の科目等について、**大学入学者選抜等において、IBDP科目の履修等をもって当該科目の履修と代替する**など、**大学で適切に判断するよう要請（令和2年3月30日通知）**。
- ▶ 今後の調査結果次第では、対応関係のある科目が増える場合がある。

国際バカロレア・ディプロマ・プログラム科目名	高等学校学習指導要領科目名
マセマティクス：アナリシス・アンド・アプローチ	数学 II、数学 III、数学 A、数学 B、数学 活用
マセマティクス：アプリケーションズ・アンド・インタープリケーションSL	数学 II、数学 A、数学 B、数学 活用
マセマティクス：アプリケーションズ・アンド・インタープリケーションHL	数学 II、数学 III、数学 A、数学 B、数学 活用
マセマティカル・スタディーズ	数学 A
マセマティクスSL	数学 II、数学 A、数学 B
マセマティクスHL	数学 II、数学 III、数学 A、数学 B
フィジックスHL	物理
ケミストリーHL	化学
バイオロジHL	生物
ランゲージB	コミュニケーション英語 II、コミュニケーション英語 III、英語表現 I、英語表現 II、英語会話

※赤字は令和2年3月30日告示で追加されたもの。特段の指定がない限りは、SL、HLの両方について対応関係が確認されている。10